要件事項	**UI・端末・モバイル** 7N 改変 26-42_パッケージソフトの自動スクロール機能の追加及びパッケージソフトの送受信電文一覧の更新機能の追加
機能概要	＜変更前仕様＞ ① スクロール位置固定機能は常に有効であり、無効にすることはできない。 ② 即時電文取り出しも含めた電文送受信中に［最新の情報を更新（F5）］を実施しても、送受信電文一覧が更新されない。
	＜変更後仕様＞ ① スクロール位置固定機能（電文送受信時にスクロール位置を変更しない機能）を ON/OFF で機能の無効/有効を設定できるようにする。 ② 即時電文取り出しも含めた電文送受信中であっても、送受信電文一覧が更新されるようにする（送受信済みの電文を表示する）。

1. 変更内容

（1） スクロール位置固定機能の無効(ON)／有効(OFF)切り替え機能の追加

メインメニュー[オプション｜送受信時に送受信電文一覧を自動スクロールする]のチェック状態（☑：ON、□：OFF）を選択することで、スクロール位置固定機能を有効にするか無効にするのかを利用者で選択できるようにする。なお、電文取り出し中(即時電文、他端末、障害電文取り出し)に[送受信時に送受信電文一覧を自動スクロールする]のチェック状態の選択をした場合、メッセージダイアログを出力し設定変更不可とする。

A) [送受信時に送受信電文一覧を自動スクロールする]に ON を選択した場合

スクロール位置固定機能を無効とし、自動スクロールする。この時、送受信電文一覧が更新される都度、再描画処理が起動する。

B) [送受信時に送受信電文一覧を自動スクロールする]に OFF を選択した場合

スクロール位置固定機能を有効とし、電文の送信又は受信処理中には送受信電文一覧のビュー（表示）は更新せずに、送信又は受信処理が完了した後にビューを更新する。この時、スクロール位置（表示範囲）を固定したまま（変えることなく）送受信電文一覧を表示する

表 1 ON/OFF に依る送受信電文一覧の挙動の差異

	即時電文取り出し等で電文受信処理中(1 電文受信の都度)			即時電文取り出し等で電文受信完了後(すべての電文受信完了後)		
状態	電文の選択位置	表示範囲	受信電文一覧の更新	電文の選択位置	表示範囲	受信電文一覧の更新
ON	**選択位置はクリアされ、最後に選択した電文が選択される**	**最後に選択された電文が表示される位置にスクロール**	**更新する(受信した電文は表示される)**	変更なし(1 電文受信の最後の選択状態のまま)	変更なし(1 電文受信の最後のスクロール位置のまま)	更新しない(1 電文受信の都度更新されているため)
OFF (初期値)	**変更なし**	**変更なし**	**更新しない(受信した電文は表示されない)**	変更なし	変更なし	**更新する(受信した電文がすべて表示される)**

・挙動イメージ

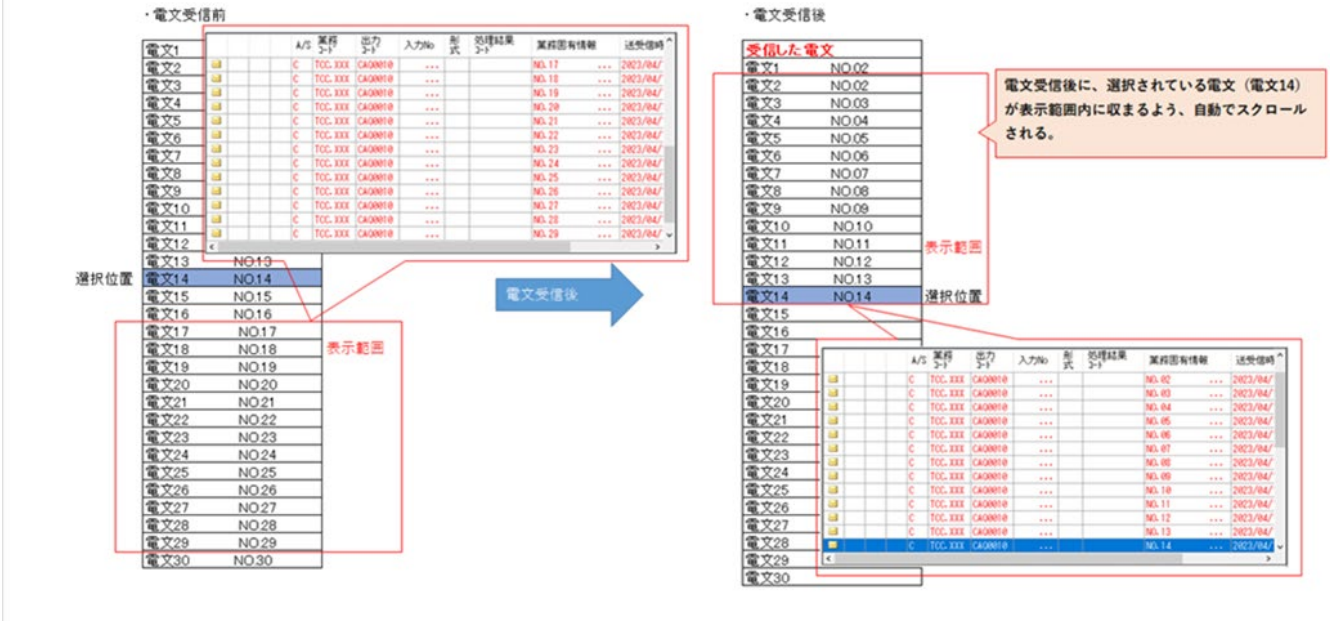


図 1　[送受信時に送受信電文一覧を自動スクロールする]に ON を選択した際の挙動



図 2　[送受信時に送受信電文一覧を自動スクロールする]に OFF を選択した際の挙動

（2） 送受信電文一覧の更新（送受信済みの電文を表示する）機能の追加

メインメニュー[オプション｜送受信時に送受信電文一覧を自動スクロールする]のチェック状態（☑：ON、□：OFF）に関わらず、以下のタイミングで送受信済みの電文を送受信電文一覧に表示（再描画）する。この時、[F5]キー押下したタイミングでは、表示範囲（スクロール位置）および電文の選択位置は一覧の先頭の位置とする。送信レポートを閉じたタイミングでは、表示範囲（スクロール位置）は一覧の先頭の位置となり、電文の選択位置は変更しない。

・メインメニュー［表示｜最新の情報に更新］クリック、またはメイン画面での[F5]キー押下したタイミング

・送信レポートを閉じたタイミング(外部ファイルの連続送信後(※))

※7N 改変-26-43 にて追加される、添付ファイル付き連続送信含む

2. 変更対象業務

（1） NACCS パッケージソフト

① 本体（実行ファイル）

3. 利用者影響

配布資材が実行ファイルのため、バージョンアップ後にはパッケージソフトの再起動が必要となります。なお、実行ファイルは事前ダウンロードが可能です。

4．リリース予定日／サービス開始予定日

（1） 端末資材

端末資材 ：2026 年 11 月 20 日(金) 00:00